

都市計画マスタープラン策定委託

特記仕様書

網 走 市

都市計画マスタープラン策定委託 特記仕様書

1. 計画の背景と目的

網走市では、平成 14 年度に概ね 20 年後を目標年次として都市計画の方針を定めた「網走市都市計画マスタープラン（以下、都市マス）」を策定し、都市施設の整備などを計画的に進めてきた。

その後 10 年以上が経過し、少子高齢化の進行、人口減少社会の到来や環境問題など都市を取り巻く状況は大きく変化していることから、より一層の効率的な都市運営や安全・安心なまちづくりに向け、平成 27 年度から平成 28 年度にかけて見直しを行っている。

一方、国においては、平成 26 年 8 月に施行された「都市再生特別措置法等の一部を改正する法律」において、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの考え方を基に、都市機能の集約と公共交通の充実等による持続可能な都市を目指した「立地適正化計画」が制度化された。

網走市においても、「都市マス」の理念と目標を踏まえ、これまで整備を進めてきた社会資本の有効活用や公共施設等の再編を含む都市機能の適正配置などにより、都市経営コストや環境負荷を抑えたコンパクトな都市を目指すためのより具体的なマスタープランとなる立地適正化計画を令和 3 年度に策定したところである。

本業務は、計画期間を迎えている都市計画マスタープランの見直しに向けて、現況と課題の整理等を行い、立地適正化計画を踏まえながら都市の将来像及び分野別方針を検討するものである。

2. 業務期間

本業務の業務期間は、契約日から令和 8 年 3 月 23 日とする。

3. 業務の内容

（１）現況分析

総合計画、人口ビジョン・総合戦略等の網走市の全体方針に係る計画を整理し、将来の都市像・都市構造に係る基本的方向性を整理する。

また、立地適正化計画をはじめ、都市機能配置の検討に資する公共施設の配置、交通網等に係る関連施策を整理する。

現行都市計画マスタープランの基本目標・基本方針に基づく具体的施策の実施状況や課題等について、施策検証シートを用いて関係各課の意見を徴取し、現行計画を検証する。

（２）住民意向調査

網走市民約 2,000 人を対象にアンケート調査を実施し、生活サービス機能・交通手段の利用状況、コンパクトな市街地形成の考え方、都市機能の集約や居住誘導に対する考え方等の市民意向を把握する。

アンケート調査については、郵送により配布し、回答は郵送またはオンラインによる回収とする。（回収率は約 40%を想定。）配布先リストは市が作成し、受託者は調査票の作成、回答入力、集計解析を行う。

（３）主要課題の整理

上位計画・関連計画の整理、現行計画の検証、立地適正化計画における都市の現状及び将来動向に関する分析結果等を踏まえ、生活の利便性、交通の持続性、災害等に対する安全性等、安全安心で快適な生活環境形成と持続的な都市経営の観点から、網走市における都市計画及び都市構造上の問題・課題について整理する。

（４）将来目標の設定

立地適正化計画における将来都市像及び都市の骨格構造を踏まえながら、主要課題の整理及び市民意向の把握結果を反映した、持続可能で機能的な都市の形成に向けた都市づくりのビジョン（将来都市像、都市づくりの基本目標）の検討を行う。

（５）全体構想（分野別方針）の設定

将来都市像及び都市の骨格構造を踏まえ、都市計画の各分野に係る基本的な考え方として、土地利用、道路・交通等の基本方針と具体的な施策の検討を行う。

（６）策定委員会の運営支援

本業務に関し、民間委員等により構成する策定委員会の運営支援を行う。
２回を想定し、受注者は資料の作成、会議の出席、議事概要の作成を行う。

（７）庁内ワーキングの運営支援

本業務に関し、庁内関係課により構成する庁内ワーキングの運営支援を行う。
２回を想定し、受注者は資料の作成、会議の出席、議事概要の作成を行う。

（８）打合せ協議

本業務の打合せ協議は、３回を想定し、その他策定委員会、庁内ワーキング等の開催時に併せて実施するなど、必要に応じて適宜行うものとする。

4. 成果品

・業務報告書	(A4 版 コピー製本)	2 部
・電子データ	(CD-R)	1 枚